

令和4年度 小林市立須木中学校 学校関係者評価書

4段階評価    4 期待以上    3 ほぼ期待通り    2 やや期待を下回る    1 改善を要する

学校経営 ビジョン	須木中学校区の教育目標である「確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、未来をたくましく生き抜く児童生徒の育成」の達成するため、「生徒のためにやる・自分のためにやる・みんなでやる」を基本に教職員の資質向上を図り、「知」「徳」「体」「食」を重点目標とし、生徒に「夢」と「誇り」をもたせ、地域から信頼される学校を目指す。
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知育	重点目標:ICTの活用及び学力向上 1 少人数を生かし、個に応じた授業の実践を通し、基礎学力を向上 ・ 学力コンテストの実施 ・ 年2回以上の研究授業による教師の授業力向上 ・ 作品展・検定試験への挑戦	○ 水曜日の5時間目終了後に行われる「須木UP」において基礎知識・技能の獲得に取り組んだ。 ○ 美術科や技術科などを通して、作品展へ積極的に参加することができたが、漢字検定や数学検定は最低受検者数に達しないため実施できていない。 ○ 研究授業、事後研修を通して教師の授業力向上に取り組む、基礎学力の向上に反映されてきている。	3.9	3.7	・ 少人数を生かした個に対して目の行き届いた指導がされていると思います。 ・ 人の前で堂々と話す自信もついてきているのではないかと思います。 ・ ものづくり大会では県代表として九州大会に出場し、素晴らしい成績でした。実用性を考えたアイデアが凄いと感じました。細やかな指導がされたと思います。
	2 ICTの有効的な活用と話し合い活動を通し、主体的に学ぶ生徒を育成 ・ タブレット活用についての知識・技能の育成 ・ デジタル教科書、視聴覚機器の活用	○ 全職員が授業でほぼ毎時間タブレットを活用している。それに伴い、生徒のタブレットの活用能力も高い。 ○ 学習成果発表会では各学年プレゼンテーションソフトを用いて主体的に説明できていた。 ○ 毎日タブレットで健康観察を行っている。生徒が自宅待機の際は体調を考慮しながらオンライン授業を実施した。	3.5	4	・ 木工では2人とも大会に出場させるなど、レベルの高い取り組みを継続していて素晴らしい。 ・ タブレットやズームの活用などICTが日常に定着しており、将来職場での利用が期待されます。
徳育	重点目標:基本的な生活の徹底及び道徳教育の充実 1 基本的な生活習慣の徹底 ・ 挨拶などのマナーや規範意識の醸成 ・ 学級活動やこすもす科における指導	○ 登校時間など、時間をしっかり守ることができている。規範意識も身につけており、教師の話を素直に受け入れ、その場に応じた行動が身につけている。 ○ 挨拶はできているが、校外では声が小さく、できていないという指摘もあった。学級活動やこすもす科において礼法指導を徹底させていきたい。	3.9	3.7	・ 挨拶は生活していく上で基本であると思います。どこでも誰にでも場に応じた行動ができるようになる為には日頃の接し方が重視されると思います。 ・ 挨拶をすることで、どんな効果をもたらすのかじっくり考えてみてほしい。
	2 学級担任を中心とした道徳科の実施により、豊かな人間性を育成 ・ 年間指導計画に沿った確実な授業の実施 ・ 導入の工夫、考えさせる授業の工夫	○ 各学級で年間指導計画に沿って、計画的に実施できている。 ○ タブレットで、動画やアプリケーションを活用しながら豊かな人間性を育成することができた。	3.8	3.7	・ コミュニケーション能力につながると思うが、まず家庭内で行うのが重要だと思う。 ・ 豊かな人間性を育成することは難しいですが、思いやりのある人(人を思いやる心を忘れない人)に育ってくれるといいなと思います。 ・ 少人数なので個々とのコミュニケーションも取れ、いじめ防止がされている様子で安心しました。
	3 「学校いじめ防止基本方針」に基づいたいじめに対する取組 ・ 教育相談、常時コミュニケーションの充実 ・ いじめアンケートの実施	○ 月一回のいじめアンケートや学級における観察において、いじめは確認されていない。 ○ 少人数指導の利点をいかし、各学年、学級担任と副担任を中心に常時コミュニケーションが徹底されている。教育相談を通して生徒一人一人の状況も把握され、職員で共通理解ができている。	3.5	3.7	・ 親しき仲にも礼儀をわきまえる話し方も身につけてほしい。

体育	<p>重点目標:体力向上及び保健安全教育の充実</p> <p>1 健康増進・基礎体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虫歯治療率100%</li> <li>・ タブレットを用いた健康観察</li> <li>・ 体力アップ週間の設定、部活動の充実</li> <li>・ 感染症対策の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タブレットで生徒に健康観察をさせることで全職員が生徒の健康状態を即時把握できるようになっている。</li> <li>○ 体力アップ週間ではダンスや持久走などの有酸素運動を取り入れ基礎体力も向上した。部活動も計画的に実施できている。</li> <li>○ 感染症対策は一般的な対策はできているが、入退出時における消毒や手洗いをさらに徹底できるようにしたい。</li> <li>○ 2月末時点で虫歯治療率は83%にとどまっている。</li> </ul>	3.8	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持久走大会では走ることの苦手な生徒も最後まで諦めずに完走し、拍手でした。</li> <li>・ 体力作りは毎日の積み重ね。小雨時の送り迎えなど過保護になりがちである。</li> </ul>
食育	<p>重点目標:食育の推進</p> <p>1 年3回の「お弁当の日」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こすもす科を通した事前・事後指導</li> <li>・ 「食育だより」の定期的発行と保護者への啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「お弁当の日」は事前・事後指導を含めて計画的に実施できている。</li> <li>○ 「食育だより」を定期的に発行している。給食についても給食センターや栄養士と連携を深めながら食育を推進していきたい。</li> </ul>	3.7	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分でお弁当を作ることで食に対するありがたさ、毎日愛情いっぱい給食を作ってください人達への感謝の気持ちが育つと思います。</li> <li>・ 食材購入から始める弁当作りも勉強になると思います。</li> </ul>
その他	<p>重点目標:キャリア教育の推進 各種行事の充実・地域との連携</p> <p>1 メディアに関する指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報モラル教育の推進</li> <li>・ 情報モラル教室の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年においてこすもす科における情報モラル教育が適切に実施されていた。</li> <li>○ タブレット端末の持ち帰りを昨年度から実施しているが、トラブルもなく適切に運用できている。</li> <li>○ 小林警察署に情報モラル教室を依頼し、専門的な視点からSNSの扱いについて講話をしていただいた。</li> <li>○ 家庭におけるスマートフォンの保有率と使用頻度が高いため、家庭と連携し、使用時間を減らしていきたい。</li> </ul>	3.7	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報社会の危険から身を守る意味からも専門的な視点からの講話はよかったです。</li> <li>・ 家庭の計画的な過ごし方ができていればスマホもOK、優先順位を自分で決めてほしい。</li> </ul>
	<p>2 キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「こすもす科」を通した体験活動・校外活動の実施</li> <li>・ 外部人材の積極的活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年で計画的にキャリア教育に取り組んでいる。</li> <li>○ 総合的な学習の時間において昨年度から外部人材を活用しているが、地元の人材をゲストティーチャーとして招いたのが効果的だった。</li> <li>○ 人材派遣会社と連携し、各学年オンラインでの外部人材の活用を推進していきたい。</li> </ul>	3.7	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習成果発表会では須木の魅力を発見できていました。高校を卒業して須木を離れても、いつか須木に帰ってきて発見したことを実現できる人になってほしいなあと思いました。</li> <li>・ 地元の人材を招いて知識や技術、技能等、幅広く身につけていくことは大切だと思います。</li> </ul>
	<p>3 情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校通信、学級通信、ホームページからの発信</li> <li>・ 新聞社への投稿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 月に1度の学校通信、週に1度の学級通信が計画的に発行できていた。HPも随時更新し、学校生活の様子を発信することが出来た。</li> <li>○ 学校行事や授業などで新聞社やKSSVCと連携し、情報発信ができた。</li> <li>○ 新聞投稿は定期的に行っているが、採用が少なかった。ただし、短歌賞の応募では生徒1名が優秀賞を獲得できたため、今後も積極的な投稿を推進していきたい。</li> </ul>	3.6	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通信は学校の様子を知る楽しみの1つ。地域の方々も楽しみにされていると思います。</li> <li>・ 新聞投稿は継続していくことが必要だと思います。</li> <li>・ 地域の方々との連携を取って何かをすることで得る物(事)がたくさんあると思います。</li> <li>・ 引き続き須木の魅力、何気ない日常に日々耳を傾け、アンテナを伸ばして感覚を研ぎ澄ましてください。</li> </ul>
	<p>3 地域との協働・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域行事への積極的参加</li> <li>・ 地域ボランティアへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福祉体験や防災学習などで地域の専門的な関係機関と効果的に連携できていた。</li> <li>○ ボランティア活動や地域行事での発表に主体的に参加することができた。</li> <li>○ 花火大会が8月から3月に延期されたが、どのような形で参加していくかについて「すきむらづくり協議会」と連携して計画していきたい。</li> </ul>	3.7	4	

<p>次年度の方向性についての校長所見</p>	<p>・今年度は、「生徒の学力向上」「教員の授業力向上」と目指して取り組んできた。それらの取組を通し、学力向上の兆しが見えてきた。次年度も今年度の取組をさらに継続し、学力向上・授業力向上に努めていきたい。</p> <p>・その他の項目に関しては、今後コロナの影響もなくなるため保護者・地域と今まで以上に連携し、「須木中ならではの」教育活動を実践を通し、本校の教育目標の具現化を図っていきたい。</p>
-------------------------	--